

ビル管理技術科

令和5年6月修了
訓練受講生の感想です

「自分の未知なる分野の技術、経験を得ることが今後の人生においての核となると考え、ビル管理技術科に応募いたしました。」

「様々な年齢や職業の先輩や同期、後輩と一緒に授業を受けるので、実習や資格試験の勉強で助け合いながら取り組めたことは貴重な経験でした。」



語りがアツい！

とにかく熱い竹村です。
受講生からの相談には本人が納得するまで、いくらでも付き合います。

ポリテクセンター香川でビル管理技術科を担当しています竹村です。

ビル管理技術科が就職先として想定しているビル設備管理の仕事では、ビル建物の快適な空間を維持するために電気、空調、給排水、防災などの数多くの設備を管理しなければなりません。そのためには幅広い多くの知識・技術が必要になります。次から次へと変わるカリキュラムをこなすのは大変ですが、毎年70名近くの方が入所し、その大半がビル管理・設備管理の業界へ就職を考えています。

ときに『ライバル』となる場面もありますが、多くの方は互いに励まし合い競い合って向上する『仲間・同志』として就職活動に臨んでおられます。私は就職活動に必要な要素の一つに「情報収集力」があると考えています。当然、1人より2人、2人より18人のほうが集まる情報量が多くなり、より条件の良い就職先を見つけることができます。

年齢、経験、性別が異なる仲間と同じ目標に向かって進む6ヶ月間は大変貴重です。後悔することの無いよう、不明な点がございましたらいつでもご連絡下さい。お待ちしております。

令和5年6月修了/男性/45歳/機械オペレーター

■受講動機

前職は印刷関連業で印刷機オペレーターとして19年間勤務してきました。その仕事が嫌いではありませんでしたが、コロナ禍による様々な要因が重なった結果、退職することになりました。そのような中で今後の就職の際の土台としての資格取得や、自分の未知なる分野の技術、経験を得ることが今後の人生においての核となると考え、ビル管理技術科に応募いたしました。

■受講した感想

スタート時から未体験の分野ばかりの受講内容でしたが、普段では触れることができない機材等を用いた実技演習や、非常にわかりやすくポイントを押さえた講義を、段階を追って理解することにより、未経験者でも高度な知識を習得して自身の糧となり、国家資格試験へのチャレンジに繋がったと思います。

また、幅広い年代の仲間たちと、時には他愛のない話で笑いあい、時には親身になってお互いに相談し、コミュニケーション能力を高め、切磋琢磨しながら最終目標となる就職に向けて活動に邁進した事も、いい思い出となりました。

■資格取得について

入所時に第二種電気工事士、危険物取扱者乙種第四類の資格の取得を目標としていました。訓練を受講することも大事ですが、なにより自分自身で勉強することが、大切だったと思います。結果として、危険物取扱者乙種第4類を取得し、第二種電気工事士の筆記試験に合格して7月の実技試験に備えています。また、二級ボイラー技士と第三種冷凍機械責任者にもチャレンジする予定です。最初は理解できない事象でも、目の前の課題を一つ一つクリアすることによって目標を達成し一歩ずつ前進したいと思っています。

資格試験については、訓練のタイミングや自身の都合等により、どの資格をいつ受験するのかが異なると考えられます。それ故に、自身で調べるとともに不明な点は指導員に相談するなど、積極的に行動する必要があります。そのなかで第二種電気工事士の取得をお勧めしますが、受験のタイミングによっては実技試験時の工具等を自前で揃える必要がでてくるため、注意が必要です。

■就職について

通常であれば、自身で企業説明会等への参加が必要ですが、会社によってはポリテクまで赴いて出張での説明会や企業面談があることにびっくりしました。幸いにして私は志望の企業のエントリーまで期間があったので、応募書類のブラッシュアップに時間をかけることができました。その甲斐もあってか、希望するビル設備管理の企業の採用が決まりました。このことは、ポリテクのビル管理技術科を受講しなければ資格の受験を志さなかったかもしれないし、そもそもビル設備管理の仕事を選択肢にさえ入っていなかったと思います。

今振り返ってみると、6ヶ月という訓練期間はあっという間でした。資格取得も大切なことですが、良い求人が出たなら、応募することが何より重要です。その為には応募書類の早期作成と、希望する求人について常にアンテナを張ること、また必要とされる資格について学んでいる姿勢を示すことを心掛けた方がよいと思います。

最後になりましたが、何も知らなかった自分をここまで導いてくださった指導員の皆様方に最大限の感謝を申し上げます。ありがとうございました。

■受講動機

前職では、電気工事士として一般家庭や企業のビル・倉庫に配線や防犯機器の取り付けを行ってきました。現場で他業種の業者と交流する機会があり、給水設備や消防設備のメンテナンスやビルの各種設備に興味を持ちました。また、職場での人間関係にも疲れ果てていたこともあり、施設管理について一から勉強したいと思い退職しました。

上記の理由から、施設管理に役立つ資格を多く取得できるビル管理技術科に応募しました。

■受講した感想

働いていた期間は毎日仕事に追われ勉強する時間も作れなかったので、自分のペースで勉強でき、分からないところを自由に質問できる環境は非常に有難かったです。

また、様々な年齢や職業の先輩や同期、後輩と一緒に授業を受けるので、他業種の情報収集に役立つだけでなく、実習や資格試験の勉強で助け合いながら取り組めたことは貴重な経験でした。

■資格取得について

訓練の内容は難しいですが、過去問の配布や実習で実際に見て触れる機会があり、分からない所は何でも指導員が答えてくれるので学習しやすかったです。それでも合わないと感じる訓練に関しては、無理して資格を取ろうとせず、将来的に就職したい業種・職種に必要なもの、費用とスケジュールを考慮して、計画的に受験を検討してください。

■就職について

訓練の開始前に、ビル管理関係の求人や企業説明会の情報提供があり、教室の後ろに求人が張り出されているので日々の情報収集で困ることはありませんでした。竹村指導員が推奨する求人は優良企業が多いので、条件が合えば積極的に応募することをお勧めします。

また、応募する前に履歴書の添削と模擬面接、就職ガイダンスなどのサポートを受けられるので積極的に活用してください。特に企業説明会や企業見学は積極的に参加しましょう。

私の場合は、竹村指導員の推奨する求人に2～3社応募し、第二希望の施設管理の職種に内定を頂くことができました。ですが、まだスタートラインに立ったに過ぎないので、半年間培ってきた経験を仕事に生かせるよう精進します。サポートして下さった指導員の方々には本当に感謝しています。

個別企業説明会

訓練生からの「求人票だけでは、不安がある」「会社のことをよく知りたい」「関連業界を知りたい」等のご要望と企業側からも「ビルの業界を理解したうえで、就職活動して欲しい」という意見もあり、不定期ではありますが、個別企業説明会を開催しております。

企業担当者からの直接説明を聞くことにより、仕事内容を理解したうえで応募を考える事ができるため、ミスマッチを防ぐことができます。



Q1. ビル管理技術科の訓練を受けてどの様な職種に就いていますか？

A1. 主に設備管理、施設管理、施設警備、ビルクリーニング（清掃）工事関係（給排水、電気、空調設備、消防）です。

Q2. ビル管理技術科の訓練を受けてどの様な就職先がありますか？

A2. 修了後に就職された方の多くは、以下の施設で勤務しています。

設備管理： ● 県庁 ● 高松市役所 ● 商業施設
● 病院 ● 各事務所ビル ● 水処理施設(上下水)
● ホテル

施設管理： ● 運動施設（運動公園、体育館、プール）

施設警備： ● 病院 ● 放送局 ● 工場

Q3. 訓練期間中に就職が決まったら、どうなりますか？

A3. 就職の時期については、内定を頂いた企業様と相談して頂き、訓練期間内の就職になった場合は、その時点で訓練は早期終了となります。

Q4. 導入講習付き訓練とは何ですか？

A4. 通常の6か月間の本訓練の前に、再就職に必要な『就職力』を身につけるための1か月間の『導入講習』を行い、専門の技能・技術を学ぶ7か月間の職業訓練コースです。

再就職をめざし就活を始めたいが、「業界がよくわからない」、「どのように就職活動を行えばよいかわからない」、「コミュニケーションについて自信がない」、といった就職活動に不安や悩みをお持ちの方に、特におススメしているコースです。

※ビル管理技術科の導入講習付き訓練は、9月入所と12月入所の年2回開催しております。



ポリテクセンター 香川

〒761-8063 高松市花ノ宮町 2-4-3

☎ 087-867-6716 (訓練課)

利用者の声はこちら⇒

